

無所属の会、立憲合流へ

2018.12.8 朝日新聞
岡田元外相ら所属 10日にも方針

衆院の野党会派「無所属の会」(無会)に属する議員の大半が立憲民主党会派に合流する方向で調整していることが7日わかった。無会は無会は解散する見通し。無

会は、同様に旧民進党にルーツを持つ立憲と国民民主党との「つなぎ役」を目指してきただけに、野党の勢力図に影響を与えそうだ。無会の岡田克也代表(元

外相)は7日、「(立憲、国民)両党の間に入って、何とかまとめようと1年間努力したが、うまくいかなかったことが続いた。膠着状態だから、決断しなければと認識は持っている」と述べた。

政界ファイル

▼明石康・元国連事務次長「今は日本も軍拡路線」
今は日本も軍拡路線を歩んでいるように思うが、1980年代に私が中満さん(中満泉・国連事務次長)のポストにあった頃、日本は信頼醸成や透明性の導入という、軍縮の前提になるいろんな仕掛けを北欧諸国と組んでやった。国防予算の国連での登録とか武器取引に関する透明性の導入で、お互い信頼関係ができれば軍縮をやってみようかという気になる。(7日、中満氏を招いた東京での軍縮問題に関するイベントで)

岡田氏は7日までに会派所属議員と個別に面会し、意向を聞いてきた。立憲への入会や無所属残留を希望する声もあり、10日にも方針を確認したうえで、来年1月の通常国会までに希望者が合流の手続きをする方向だ。

「無所属の会」メンバー 数字は衆院当選回数。敬称略

- 岡田克也(10) (会派代表)
- 中村喜四郎(14)
- 玄葉光一郎(9)
- 野田佳彦(8)
- 安住淳(8)
- 中川正春(8)
- 江田憲司(6)
- 田嶋要(6)
- 大串博志(5)
- 黒岩宇洋(3)
- 本村賢太郎(3)
- 金子恵美(2)
- 広田一(1)

主な選択肢
・立憲民主党の会派入り
・立憲へ入党
・無所属

関係者によると、岡田氏と立憲の枝野幸男代表が6日、国会内で会談。こうした問題について意見交換したとみられる。枝野氏は「永田町の数合わせには、くみしない」と野党再編には消極的な立場だが、「理念政策が一致し、一人ひとりが判断して結果的に全員

ならいい」と周辺に語り、柔軟な姿勢も見せている。立憲は会派入りに際し、①原発ゼロ基本法案②来年10月の消費増税反対③米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への賛

同を求める方針だ。無会は、昨年の衆院選で旧希望の党に合流せず、無所属で当選した旧民進系議員で結成した。岡田氏、野田佳彦元首相や安住淳元財務相ら民主党政権の中核を担ったベテランら13人が所属。現在、衆院の立憲会派は58人、国民会派は37人。無会の全員が入れば立憲は70人を超える。質問時間や委員の配分は会派の大きさに決まるため、立憲の存在感はいつそう増すことになる。(山岸一生)

2018.12.8 朝日新聞